

# 「COVID-19 パンデミック前後での膵癌発見契機に関する後向き試験」について

## 1. 研究の対象

2015年1月～2023年12月までに当院で膵がんと診断された患者さん

## 2. 研究目的・方法

COVID-19 パンデミックにより人間ドックを受診する方が減少することにより、スクリーニング超音波検査による膵がんの発見が減少し、進行癌の増加が危惧されました。この間の膵がんの発見契機と発見時の病期を調査することにより、今後の対策などを検討します。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・患者背景:性別、年齢、発見契機(症状、検査所見)、発見時の病期
- ・CT 検査所見、MRI 検査所見、超音波検査所見

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院 消化器内科

住所：静岡県磐田市大久保 512-3 電話：0538-38-5000

研究責任者：磐田市立総合病院 消化器内科 山田貴教